



小樽支部 支部長
秦 健一郎

新年明けましておめでとうございます。北海道行政書士会の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

当支部では令和3年度は当初よりコロナの影響でまともに行事が行えないだろうという予測で元々縮小した計画を作成しておりました。研修は2回、無料相談は1回しか開催できず、会員サービスの低下が指摘されるかもしれません。例年温泉などで開催していた会員交流会も残念ながら実現できませんでしたが、役員会は初めてリモートで開催できました。

2021年は冬ごもりの忍耐の一年となりましたが、コロナワクチンの接種が進展し、経口治療薬が供用開始されるという明るい報道もありました。緊急事態宣言が解除され、人も経済も動き始めました(令和3年11月2日現在)。完全に元どおりの社会生活に戻るのには難しいかもしれませんが、地域住民の皆様や会員の皆様のお役に立てるよう、ニーズを探求しながら知恵を絞りつつ「静」から「動」への一年としたいと思います。会員皆様のご多幸を祈念いたしまして新しき年のご挨拶とさせていただきます。



釧路支部 支部長
沢田 千鶴子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃より釧路支部へのご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年もコロナウイルス感染に注意を払っての支部活動となりましたので、計画を立てていた支部行事は完遂には至りませんでした。

2月、10月に行なった無料相談会には、多数の相談者が訪れました。ブース数の関係から待機をして頂いた時間帯もあるほどでした。相談内容は、相続、遺言に関する事柄が大部分を占め、世相を反映しているのを実感しました。相談者から悩みが解決したよと言葉を掛けて頂けると「街の法律家」の矜持がくすぐられます。また、時間を区切らず、相談者が納得するまで相談に乗るというスタイルが好評のようです。

7月には、パークゴルフ大会を開催しました。ウイルス感染に充分注意を払いながら、コロナ禍のストレス解消と会員同士の交流を深める一日となりました。

一昨年からの協議を継続していた「空き家等の対策に関する協定」が北海道行政書士会と釧路市の間で締結されました。関係各位の皆様のご尽力に御礼を申し上げます。支部といたしましても釧路市との関係がこの協定に伴ってより強固になるよう可能な限り協力を惜しまないつもりです。

結びになりますが、会員の皆様にとりまして2022年はコロナウイルスに負けず、良い年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。